

町政を問う！



# 一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです  
1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です

3月9日

8人の議員が質問

インターネット  
中継はコチラから



掲載している内容は質問者自身が要約し、広報編集委員会が校正したものです。議事録は、6月上旬に町ホームページに掲載します。

3月定例会・一般質問



旅立ちの時

3月定例会

議案PICKUP

一般質問

委員会報告

いのちを守る対策の進捗状況は



作野 桂子 議員  
SAKUNO Keiko

給食のあり方は各地で見直しが進んでいる。本町でも総合的に判断していく必要がある。

Q 自殺防止計画は、既存事業の整理が中心となっており、客観的に評価する仕組みが十分とは言えない。計画の見直しを含めた町長の考えは。

A 全庁的に、また地域と共に取り組んでいかなければならない課題である。今後、前向きに検討したい。

プレミアム付商品券の検証は

Q 低所得者に対する支援としては、課題があったと考える。次回以降の物価高騰対策は低所得者にも、きちんと届く施策とする必要があるのでは。

A 次回以降の物価高騰対策は、国からの趣旨や社会情勢、今回指摘された意見も踏まえて検討する。

学校給食の適正運用と残渣対策は

Q 給食の栄養は提供した時点で確保されたか評価するのか、実際に喫食された結果で評価すべきなのか。

A 残渣を記録し献立に反映していることから、実際に喫食された結果に基づいて評価すべきだと認識している。

Q SDGsの観点からも、残渣の発生を抑えていく視点が重要である。

A 年度単位での事前申請制など、発注量を実態に近づける仕組みの検討は、子どもに必要な栄養価の確保と牛乳残渣の抑制の観点から、発注数に係る今後の対応方法について、先進自治体の状況を調査・研究していく。

■令和6年度 牛乳の飲み残し(未開封のみ)

	提供量(本)	未開封量(本)	未開封の割合
A校	75,532	4,637	6.1%
B校	54,631	4,059	7.4%
C校	60,001	2,194	3.7%
D校	92,024	5,782	6.3%
平均	282,188	16,672	5.9%